

早良区少年愛護パトロール員だより

～安全・安心の地域をつくるために、パトロールでの優しい声かけをお願いします～
令和2年10月23日 /編集・発行 早良区総務部地域支援課振興係

少年愛護パトロール員は、地域の青少年の健全育成を阻害する要因や諸問題を早期に発見し、早良区及び校区青少年組織に報告することが主な職務です。校区の青少年組織の会長が推薦を行い、各校区から2名程度、任期1年で区長が委嘱しています。

例年、6月に委嘱式・研修会を行っていますが、令和2年度は9月24日（木）が第1回の研修となりました。

第1回 早良区少年愛護パトロール員研修会の報告〔令和2年9月24日実施〕

1. 開会行事

地域支援課長挨拶（藤井 ひろ子 課長）

（抜粋）

お忙しい中、少年愛護パトロール員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で生活スタイルが大きく変化し、大人だけでなく子どもたちも多く不安を抱える状況にあると思われます。どうか、見守り活動を通じて、気になることや気づいたことなどは校区の青少年育成団体にも報告していただき、青少年を地域全体で見守る環境づくりに努めていただくようお願いします。早良区役所といたしましても、みなさまからいただいた報告書はすべて目を通し、必要に応じて迅速に対応するとともに、貴重な情報が地域全体で共有できる仕組みづくりに努めてまいります。

今後の少年愛護パトロール員の活動にあたって、事故や怪我のないようにご留意いただきますよう、よろしく申し上げます。



2. 講話

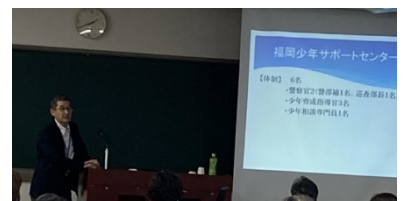
福岡少年サポートセンター少年相談専門員 木下 俊一 氏

（抜粋）

問題を起こす子どもは悩みや不安を抱えています。今までに大切にされた経験や褒められた経験が少ないと思われ、特徴は、①自尊心が低い ②居場所がない ③大人への不信感（見ないふり、無視をする）などです。

日本社会は「同調圧力」が強いのか、異質なものを排除しがちな部分があり、帰国子女が居づらさを感じるとも言います。子どもが抱える悩みや不安に寄り添うことが大切です。

近年の傾向として、SNS やネットを介した犯罪の被害や加害が増えています。また、



性の被害や加害の低年齢化も進んでおり、表面に現れにくく、潜伏傾向にあります。

薬物犯罪としては、以前多かったシンナーはほとんどなくなりましたが、高校生を中心に大麻の事案が増加傾向です。

このような状況の中で、地域にできることをいくつか挙げます。

- ①気になる子どもを見かけたら目を合わせてニッコリと。できれば挨拶、声掛け「どうかしたの？ だいじょうぶ？」
- ②結果を求めない！ 無理しない！「あなたを気にかけている」ことが伝わればよしとする。
- ③集団暴力、問題行動は気づいたらすぐに 110 番、最寄りの交番は多忙ですぐに動けない、110 番通報が迅速対応できる。

福岡少年サポートセンターでは相談支援、講演などの活動を行っています。地域での講演も行っていますので活用してください。これからもよろしくお願いいたします。



少年サポートセンターの活動

少年相談

少年や保護者からの相談を受けて専門員が指導・助言します。

立ち直り支援

非行に傾いた少年、被害にあった少年等に対して関係機関と連携して支援を行います。

街頭指導

街頭での補導やサイバーパトロールなどを行います。

広報啓発

チャイルド（乳幼児）ケア講演
思春期（小学校高学年・中学生）サポート講演
非行防止教室等

3. 早良保護区保護司会の紹介 早良保護区保護司会 会長 芹野 正通 氏 (抜粋)

現代社会の8割の子どもたちはルールを守って生きているが、2割の子どもたちが一線を越えてしまいます。8割の中に戻れるように更生保護活動を行っていますが、なかなか更生の道は難しいものです。2割の子どもたちにとって、厳しい目で見られる8割の中にいるよりも居心地がよく、優しく受け入れてくれていると感じる悪い仲間のほうへ行きがちです。

早良保護司会では、相談窓口を設けています。非行に走った子どもやその親で困っていることがあればご紹介ください。

また、保護司会では保護司を募集しています。身近な社会貢献、66歳までの適性のありそうな方をご紹介ください。



早良保護区保護司会事務所

所在地：早良区東入部5丁目5番15号

電話：092-803-1016

4. 事務局より報告等 愛パト担当 (非行防止対策推進員) 平山 修吉

(1) 報告書提出は月 1 枚を目標に

- ・定期的なパトロールの情報から
- ・生活の中で個人的に気になったことから

※ 3 枚複写中, 1 枚は地域支援課提出

- ・ 1 枚は校区の青少協会長提出
- ・ 1 枚は本人保管です。



(2) 報告書の活用について (今年度の例より)

- ・危険箇所 2 件 (交差点での子どもの飛び出し, 歩道での自転車との接触)
- ・たまり場 2 件 (午後 8 時頃, 公園横の自販機前でのたむろ, 午前 1 時頃のたむろ)
- ・その他 6 件 (小 1 の寄り道, 公園のゴミ, 子育て, 公園の除草, 外灯設置, 地域住民で清掃作業等)

※ 異常なし 25 件

報告書の内容を受け, 迅速な対応を心がけ少年非行の初期対応や未然防止に努めています。また, 校区における安心, 安全のため気になることでもご報告をお願いします。子どもたちの善い行いも報告をお願いします。該当の小・中学校長に善行があったことを伝えます。あと半年ほどになります。これからもよろしくお願いします。

5. ご参加いただいたパトロール員の皆さんからのアンケートより (提出枚数 23 枚)

(抜粋)

(1) 講話の感想, ご意見など (抜粋)

- ・普段聞く機会が少ない具体的なエピソードが聞け, それが思っていたより状況が悪く驚きました。見て見ないふりをしない努力が必要だと思います。
- ・愛護パトロール員として具体的に何をすればいいのかわからなかったが, 今日のお話を聞いてイメージがつかめました。今後は教えていただいたことを念頭に置いて活動していこうと思います。先生のお話は大変分かりやすく勉強になりました。
- ・普段の生活の中で聴く(知る)事のない話が聴けて良かったです。娘が中学 2 年生ですので, 実体験ではないですけど, 大人の不信感だとか, 居場所がないとか, 自尊感情が低いとかわかる気がしました。本日の研修会に参加できて良かったです。
- ・問題行動を起こす子供とは, 問題を抱えている子供が大半だとおっしゃいました。コロナの影響でいろいろなネットがらみの危険行為が多い状況だと知った。TVで性被害→予期せぬ妊娠が非常に多いことは知っていましたが, SNS というつながりで危険行為が多くなっていることを知れた。ネット社会での犯罪が多いことに驚きました。サイバーパトロールなどもしていただきありがたいですが, 子どもの本来の居場所, 家庭, 学校, 地域と連携して声掛けやパトロールなどでまずは寄り添うことが大切だ

ということを改めて認識しました。

- 子どもたちに対する対応の姿勢のヒントを得られた。子どもたちの現状の変化を知ることができた。地域にできることの提案が話されたことは有意義であった。

(2) 保護司会の紹介を聞いての感想など（抜粋）

- 保護氏の方の活動をはじめて知りました。再犯を防ぐことの大切さがよくわかりました。青少年ばかりでなく、大人も居場所というのは大切だと思いました。
- 再犯者が減らないというのは本当に考えさせられました。『再犯者をなくすことで明るい社会になる』本当にその通りだと思いました。セカンドチャンスが必ずできる社会、世の中になっていくことを願います。
- 非行少年の立ち直りを支える保護司さんの活動をお聞きして、身近に困っている人がいれば保護司会を紹介したいと思います。
- 保護司さんと地域とのかかわりは全くありませんが、大事な仕事だと思います。

(3) 少年愛護パトロールについて、ご意見ご感想など（抜粋）

- 学校 PTA、自治会の組織にも組み入れ子どもの見守り、声掛け活動の普及をしてはどうでしょうか。地域と言いながら、一番大きな自治会に認識がありません。
- あえて少年愛護パトロールというのは必要なのでしょうか。今日初めて参加してそう思いました。日頃から、あらゆる場で見守りや防犯活動をやっていますが、例えば青パトからの報告など聞いたことありますか。防犯組合などからは？なぜ愛護パトなのか？なぜ愛護パトでなければならないのか？連絡先はどこなのか？研修にはなっていない。
- 少年愛護パトロール員とは何か、活動内容は、など認知度が低い。愛パト員以外の人は何も知りません。認知度を上げてほしいです。
- 報告書ではほめること、気づいたことも連絡してくださいと言われ、ハッとさせられました。良いことにも注目していきたいと思います。地域の子どもに目を向け、明るく安心安全な町になれるよう努めていきたいなと思いました。
- パトロールは町内を回るだけでなく、子どもの心の中まで目を向けていけるようにしていきたいと思いました。

※ 校区の状況は日々、変化します。継続したパトロール活動及びその意識は、非行防止・青少年健全育成活動につながり、ひいてはそれが「安心・安全のまちづくり」につながるものと信じております。早良区役所に提出いただいた報告書は、地域支援課で回覧し情報の共有を図っています。危険個所の補修や外灯の設置については、担当課へ情報を提供し、調査・検討の上、補修・設置となります。